

令和2年 第2回伊那地域協議会会議録

開催日	令和2年9月24日(木)										
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時15分					
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール										
委員の出欠 出席32名 欠席7名		委員氏名				委員氏名				委員氏名	
	1	御子柴 春樹	出	16	松倉 利男	出	31	平澤 剛	欠		
	2	福澤 政芳	出	17	井地 政雄	出	32	佐々木 美恵	出		
	3	白鳥 正夫	出	18	根橋 尚樹	出	33	唐澤 美恵子	出		
	4	中山 昭	出	19	大沼 明夫	出	34	工藤 真由香	出		
	5	赤羽 敏	出	20	清水 慎一	欠	35	東條 恵	出		
	6	網野 修	欠	21	唐澤 章	出	36	小林 建正	出		
	7	三沢 廣光	出	22	平出 良司	出	37	平賀 裕子	出		
	8	酒井 照明	出	23	金丸 恵美子	出	38	小林 正	出		
	9	池上 好教	出	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	出		
	10	池上 覚衛	欠	25	石川 雄也	欠					
	11	神山 光男	出	26	池上 かおる	出					
	12	沖村 元衛	出	27	小沢 智治	出					
	13	林 典男	出	28	田中 利幸	出					
	14	宮原 栄治	出	29	馬場 和幸	出					
15	湯沢 一美	出	30	清水 功	欠						
署名委員	白鳥 正夫			中山 昭							
条例第10条の規定により出席した者	なし										
市側の出席者	なし										
出席した事務局職員	地域創造課長 唐澤 直樹 地域振興係長 中村 克俊 地域振興係 早川 佳代										
議 事	協議事項 (1) 地域協議会の役割について (2) 伊那市協働のまちづくり交付金について (3) その他										

配布資料	資料 No. 1 令和2年度伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 資料 No. 1-1 伊那市協働のまちづくり交付金事業選考結果シート 資料 No. 2 令和2年度協働のまちづくり交付金事業申請状況 資料 No. 3 令和2年度伊那地域協議会年間計画
------	--

1 開会

地域創造課長により、開会する。

(欠席の報告)

2 あいさつ (小林会長)

大変暑かった今年の夏も、お彼岸の時期になり過ごしやすくなってきた。また、心配された台風12号も予報からそれ、長野県に大きな被害が出ずに済んだ。第2回伊那地域協議会の開催もコロナ禍の中で心配しましたが無事に開催できてよかった。今回の地域協議会では、協働のまちづくり交付金事業の応募が第1次・2次募集をしたがコロナの影響で予算の1/3程度しか実施されていないため、3次募集を行うかどうか委員の皆さんからご意見をいただきたい。

後半の研修では、信州大学の林靖人先生から、この地域の戦略や地域づくりの推進について、今後私たちがこの協議会で協議を行っていくために参考となる講義がありますので、私たちもしっかり勉強をしながら今後の糧にして参りたい。

3 会議録署名人の指定について

議事録署名人に3番 白鳥 正夫 委員、4番 中山 昭 委員を指名する。

4 報告事項

(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業(2次分)の選考結果について

(事務局)

伊那市協働のまちづくり交付金事業(2次分)の選考結果について説明。

5 会議事項

(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業について

(事務局)

伊那市協働のまちづくり交付金事業の申請状況について説明

(会長)

3次募集を行い、事業実施団体を募る(1案)と今年度の事業募集は終了する(2案)の2つの案があるが、どちらの案にするか委員の皆さんのご意見をうかがって決めたい。

(委員)

新たに事業を募集するのではなく、伊那地域協議会が事業主体となって交付金を使

うことはできないのか。

(事務局)

地域協議会として交付金を活用することは可能。この交付金の趣旨は地域の活性化のために取り組む活動に対する支援なので、そのような形になれば非常に良い。

(委員)

この地域協議会は1期の任期が2年になっている。この期間で色々な活動ができると思う。今年度は日程的に難しいので、来年度以降にこの費用を入れて発展させて行くという様な使い方をしてはどうか。

(会長)

予算を伴った「まちづくり」事業が他になく、この事業は年度末の3月が区切りとなってしまうので3次募集を公にして、応募を募ったらどうか。

(委員)

3次募集を行うには、実施主体となる団体の構成員が集まって相談をしたり、書類を作成したりと時間がかかるので日程的に厳しいのではないか。

(会長)

3月末が1つの区切りとなってしまう。期間は非常に短い、その中で行える事業があれば応募して頂けるよう、事務局と相談して3次募集を行うということにしたい。

《委員からの反対する意見なし》

(事務局)

限られた期間にはなるが、3次募集を行うことで進める。伊那地域協議会の中でも活用できるものがないか、相談しながら進めて行く。

(2) 今後の伊那地域協議会のスケジュールについて

(事務局)

伊那地域協議会の今後の開催日程等を説明

《質疑応答なし》

(会長)

それでは事務局案のとおり今後の協議会を運営していく。

6 講演会

演題「延長社会から創新社会へ」

信州大学 学術研究院 人文社会学域・総合人間科学系 教授

学術研究・産学官連携推進機構 本部長
林 靖人 先生

6 閉 会（林副会長）

今回の研修会を、我々の今後の活動に活かしていきたい。
これで第2回伊那地域協議会を閉会します。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

令和2年9月24日

令和2年度 第2回伊那地域協議会 会議録

会 長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____